

# 遊びと体験

宮田まり子(白梅学園大学)

# 本日のお話

- 子どもの「遊び」とは
- 子どもの「遊び」を援助するとは

- Denn es ist freitätige Darstellung des Innern , die Darstellung des Innern aus Notwendigkeit und Bedürfnis des Innern selbst, was auch das Wort Spiel selbst sagt.

Friedrich Fröbel

- それは内なる自己の自由な表現であり、内なる自己自身の必要性と要求から内なる自己を表現するものである。Spiel(=遊び/踊り)という言葉が示しているように

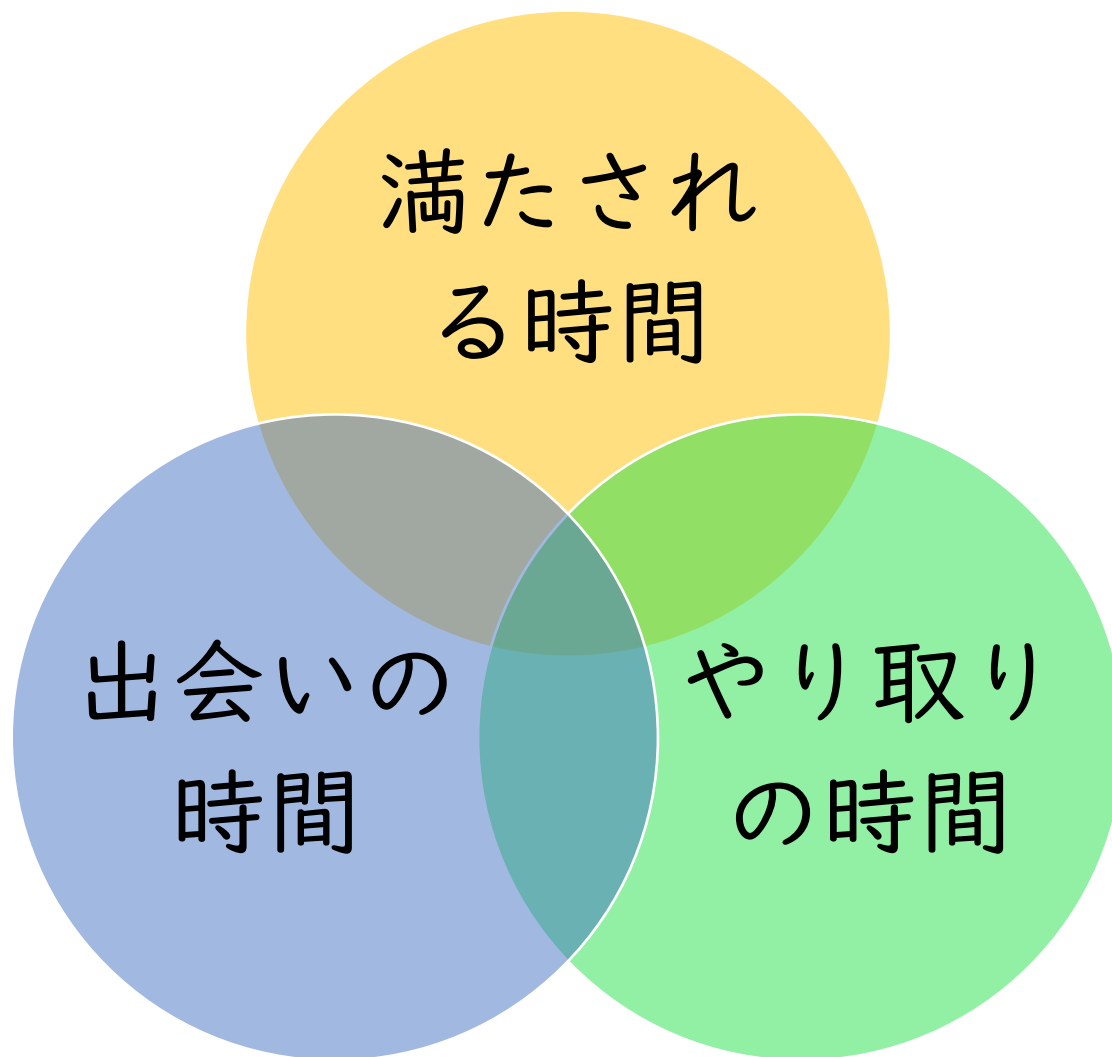
形ある遊  
び・名前が  
付いた遊び

目で見て捉え  
られるもの

形のない遊  
び・名前が  
付いていな  
い遊び

その人の心の  
中にあること

# 子どもの遊びとは



出会い  
の時間

# 生後5か月



秋田喜代美，野口隆子，宮田まり子，伊藤史子，亀ヶ谷忠宏，大竹節子，石井雅，福田奈美恵，和島千佳子，加藤篤彦，堀田由加里(2018)『幼児期の深い学びの検討：探究過程の分析』，公益財団法人日本教材文化研究財団 p58

出会い  
の時間

感じる



亀ヶ谷忠宏(2018)「創造性こそ21世紀に必要な生きる力」『調査研究シリーズ71 これからの時代に求められる資質・能力を育成するための幼児教育指導』,公益財団法人 日本教材文化研究財団,p97



やり取り  
の時間

子どもの遊び＝ゆっくり じっくり  
時間をかけて作られる物語





## やり取り の時間



深まる

やり取り  
の時間

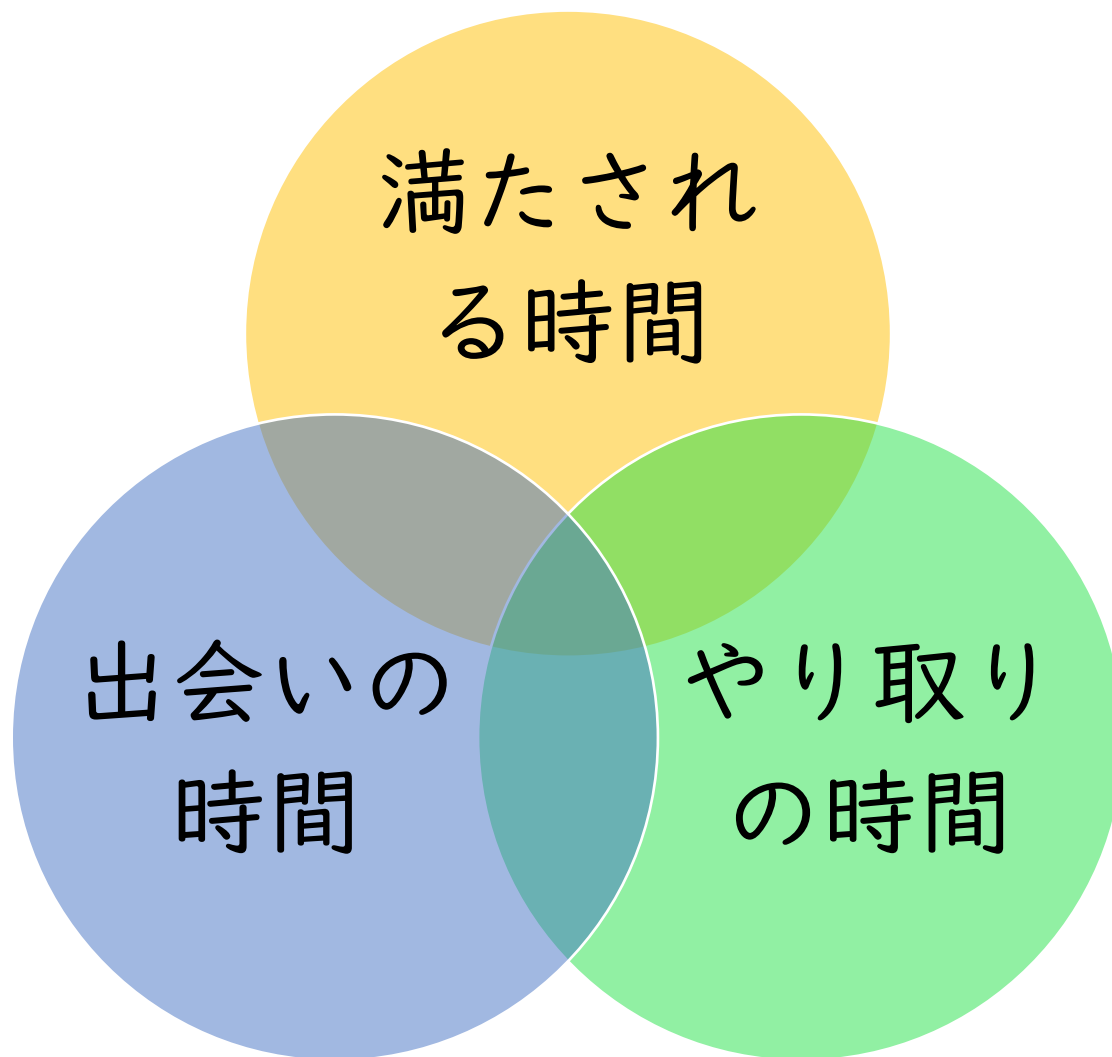
## やりたいこと・なりたいものをイメージする



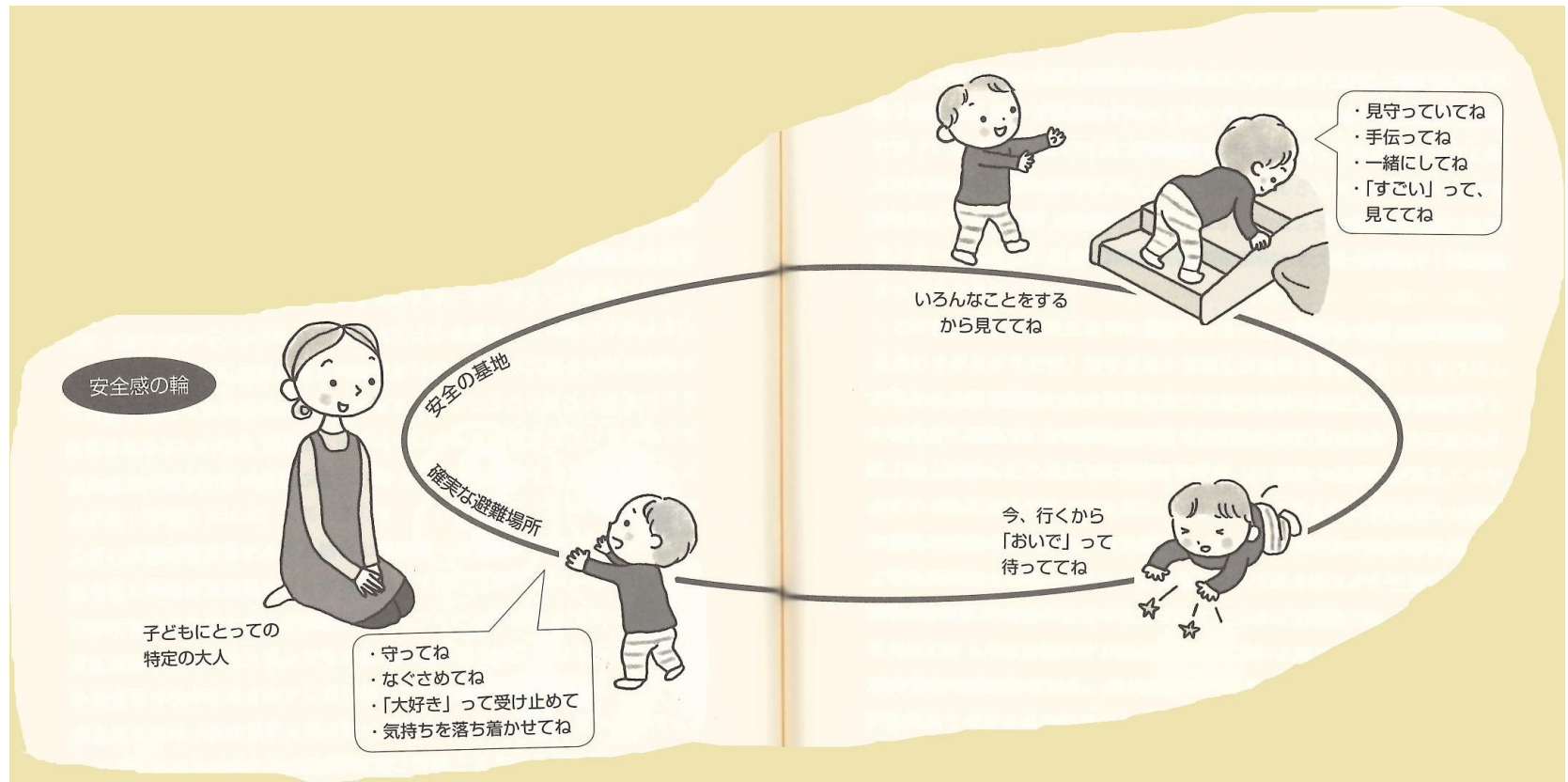
満たされ  
る時間



子どもの遊びには



# 「安全の基地」が作られていく



# 乳幼児期に満たされる意欲と自信をもとにして





# 学童期からの学びへ

「おい。こっちに来て  
ごらん。眺めがいい  
ぞー。」



「〇〇したら登れる  
ぞー」



意 欲

自 信



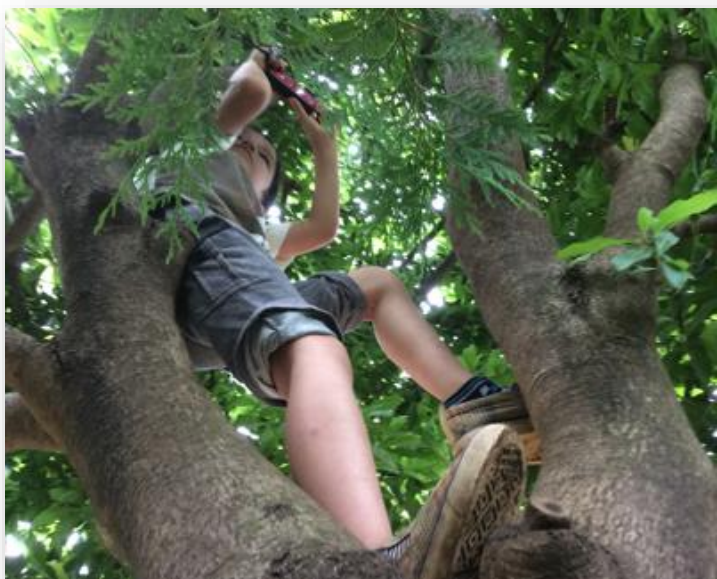
# 子どもの遊びを援助する

- ・ポイント

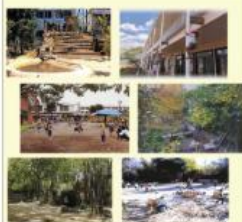
1. 子どもの声を聴く…子どもの思いをもとに(子どもの視点に立つ)
2. 遊びの過程を楽しむ…共に遊ぶ

満たされる思いあふれる時間になるように

3. 振り返る…遊びの過程を振り返り、伝え合う(お話をする)



子どもの経験をより豊かに  
園庭の質向上のためのひと工夫へのいざない



『子どもの経験をより豊かに：  
園庭の質向上のためのひと工夫へのいざない』  
‘To Enrich Children’s Experiences:  
The Introduction of Devices for Improving the  
Quality of Playgrounds’  
東京大学発達保育実践政策学センター(Cedep)

東京大学発達保育実践政策学センター 園庭の質向上のためのひと工夫へのいざない



子どもの経験をより豊かに  
園庭の質向上と自然のひととふれあいを  
実現する

『子どもの経験をより豊かに：  
園庭の質向上のための工夫へのいざない』  
『To Enrich Children's Experiences:  
The Introduction of Devices for Improving the  
Quality of Playgrounds』  
東京大学発達保育実践政策学センター(Cedep)





大人の視点から公園を見ると…





子どもの視点から公園を見ると…







## ■ こどもを夢中にさせるおもちゃ！

### こどものおもちゃ、大人は何を気にしたらいいの？



宮田 まり子 先生  
専門：こどもの遊び、  
保育教材

多くのこどもは、最初に物、つまりはおもちゃと出会い、おもちゃとの関わりの中で物の性質や特徴を知っていきます。それらの知はやがて、この世界にある様々な仕組みや原理を知ることにつながっていきます。また物がきっかけとなり、人との関係も生まれ育まれています。

こどもがおもちゃで遊んでいるときは、おもちゃそのものの素材や形のほか、個数やきまりなどのおもちゃが扱われる状況に注意してみましょう。

- ① やりたいと思う気持ちの実現できるもの、
- ② おもちゃを自由に操作することができる状況(自由に操作できる素材や形)、
- ③ 多様な素材や形、動きが経験できること、
- ④ 作り手の意図とは異なる使い方が創造されるなど、

創意工夫が生まれる状況や個数であることの4点が大切です。

石があったり葉っぱがあったり虫がいたり…多様な物がある













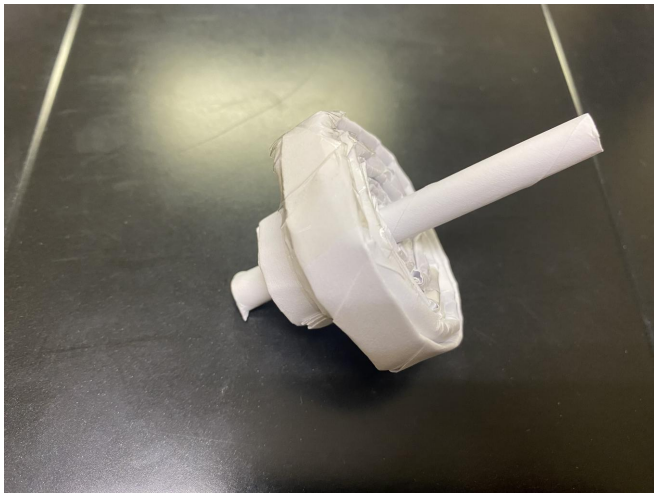




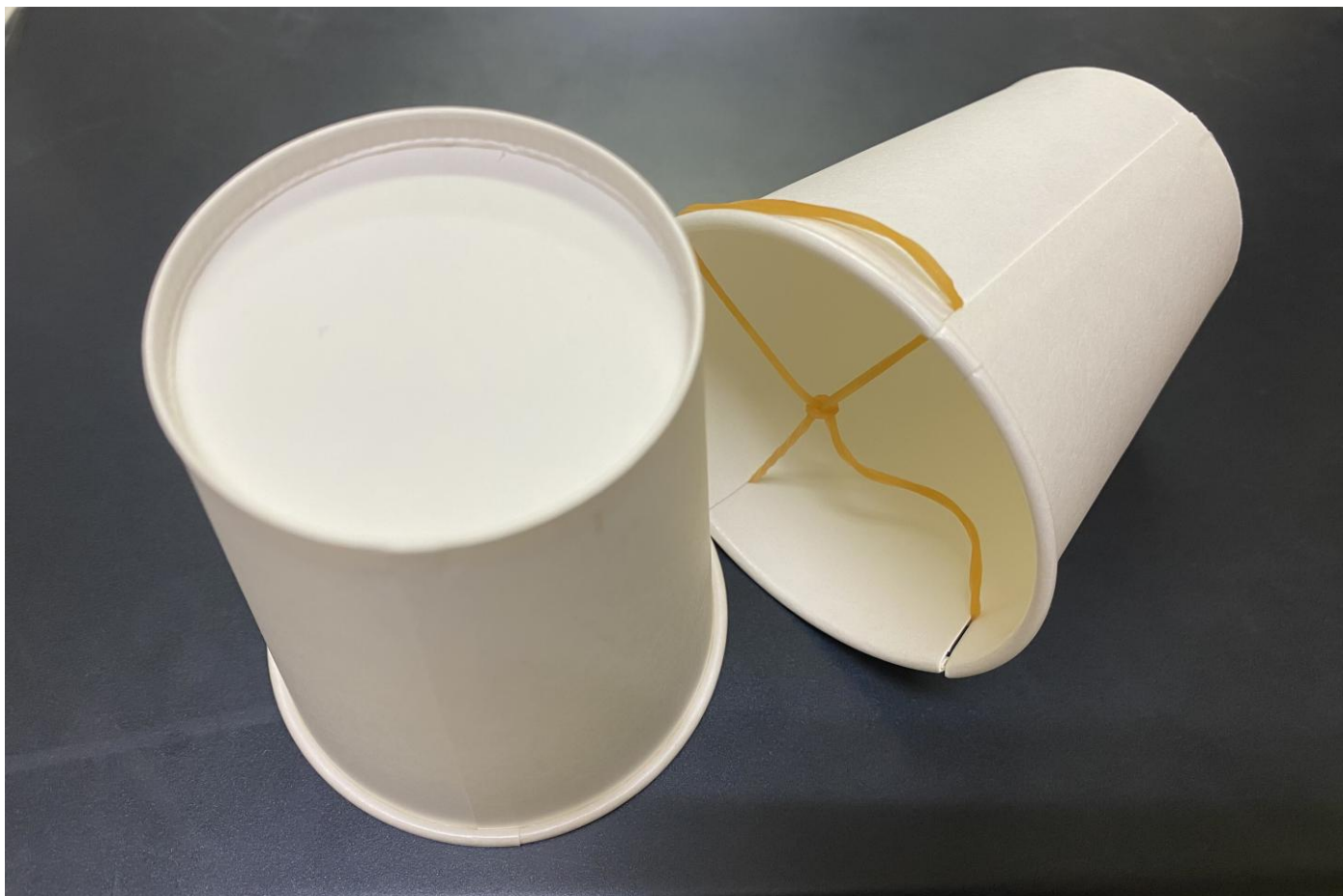






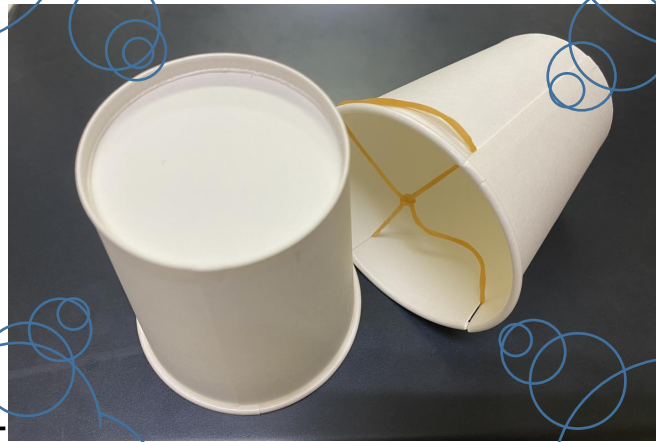


- ・家庭にある素材でできる。
- ・簡単…たくさん巻いたり、少なく巻いたり、軸を長くしたりなど、遊び手が簡単に作り変えることができる。
- ・手が加えられて結果がみえる…動き(上手く回せば長く回る)が単純でわかりやすく、回るという結果に対して、「作り方」「回し方」「回す場所」等を変えるといった工夫ができる。
- ・回す、長く回す、大きく作る、小さく作る、色を変える等々、一つの遊びだけでなく、様々に楽しむことができる。



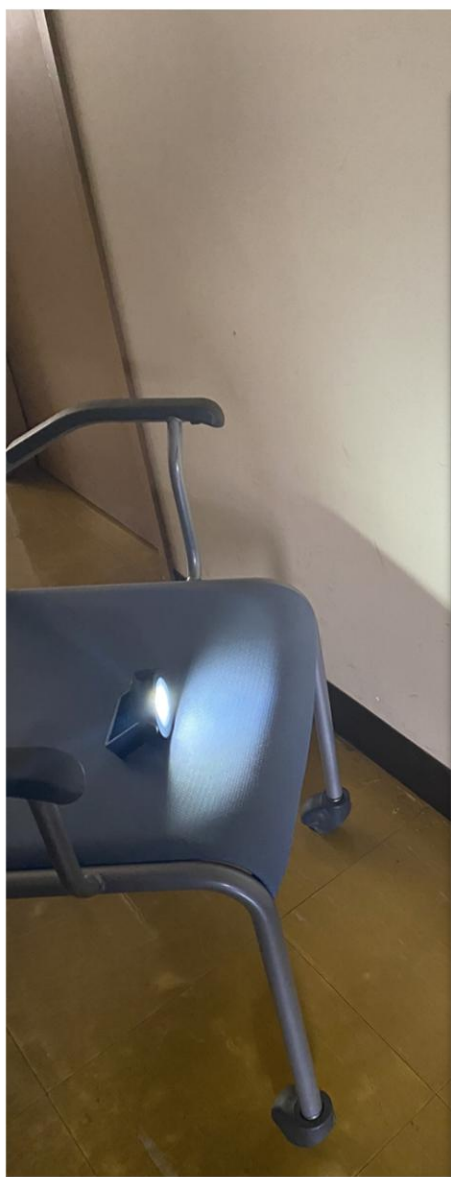
これは何かな?  
「これはロケットかな?カエル  
かな?それともセミ?」  
見立てる。イメージする。色  
塗ったり形を付けたりする。

どれくらい高く(遠く)飛ぶ  
か、競争しよう!  
「椅子の上に乗るかな?」  
目標を設定するなどして  
どこまで飛んだかを可視  
化して共有する



紙コップの大きさや材  
質を変えてみる、輪ゴ  
ムの太さや長さを変  
えてみる等、素材に  
よる違いを楽しむ。違  
いに気づき、違いを  
知る。

?  
他にどんなアイデアが  
あるかと共に考えるこ  
とも楽しんで



# 子どもと共に遊ぶこと

- ・ 大人も楽しむ。遊びは、その遊びを楽しむ姿に誘われて始まることもある。  
…その人の得意なこと、好きなこと、やってみたいことを活かせる遊び等、  
子どもとともに楽しむことができることを探してみる。

→【子：誘われる(遊ぶ体験ができる)・遊びを知ることができる】

- ・ 大人は「できる」モデルだけでなく試行錯誤するモデルにもなれる。  
…「遊び」に正解は無い。だからこそ、失敗も意味ある出来事になる。  
→【子：失敗しても挑戦し続ける意欲や態度、またその価値を知ることができる・物の扱い方や道具の使い方などスキルを身に付ける】

- ・ 結果ではなく過程を楽しむ  
…例えば、おもちゃを作って遊ぼう大人が誘って始まった過程の中で、おもちゃ作りではない方に子どもの興味関心が向かったとしても、子どもの思いを理解することができた時間として意味はある。その過程を楽しみ、子どもにとって楽しい時間になれば、遊びが継続・発展する可能性も高まる。

→【子：自ら環境を変えていく、創造していくことの楽しさを知ることができる】





- ・積み木も、崩れるから面白い！  
ということも

# 子どもの「遊び」をやってみる



# 子どもの遊びを援助する

## ・ポイント

1. 子どもの声を聴く…子どもの思いをもとに(子どもの視点に立つ)
2. 遊びの過程を楽しむ…満たされる思いを持つことを目指して
3. 振り返る…遊びの過程を振り返り、伝え合う(お話をする)

写真を撮る  
or  
子どもに撮ってもらう  
→掲示する

遊んだ物や作った物を  
飾って置く



- ・子どもの思いに触れられる
- ・大人の意図や考えを言葉で伝えることができる
- ・次の遊びのきっかけになる



ご清聴ありがとうございました